

関係各位

**満席となりましたので、受け付けは
終了いたしました。(2013/7/30)**

電支機13-018号
2013年7月17日

(一社)電子情報技術産業協会 関西支部
関西IT・ものづくり技術委員会
委員長 藪田 哲史

JEITA 2013 技術セミナー 開催のご案内

テーマ「日本が取り組むべき成長戦略とは！」ー閉塞感の殻をぶちやぶるためにー

日本経済は昨年末の政権交代後、長引く円高、株安、デフレ進行から漸く脱却の兆しが見え始めた。しかしながら、日本の製造業、とりわけエレクトロニクス業界は海外勢に押され苦戦を強いられ依然として確たる成長路線の絵が描けていない。こうした閉塞感を打破し、あらたな成長路線に向かうための方向性、糸口について異なる視点、切り口にて提言頂き考察する。

開催日時：2013年9月13日(金) 13:00~16:30 (開場時間 12:30より受付開始)

場所：[大阪歴史博物館 4階 講堂](#) (※NHK大阪放送局に隣接しています)
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 電話：06-6946-5728

主催：(一社)電子情報技術産業協会 関西支部 関西IT・ものづくり技術委員会・運営部会

プログラム：◇開会 13:00

◇講演

1. 「創発的破壊：イノベーションとパラダイムチェンジ」

13:05~14:05 (60分)

一橋大学 イノベーション研究センター 教授

／プレトリア大学 GIBS 日本研究センター所長 米倉 誠一郎 氏

すでに明らかにされているように、失われた20年における日本のマクロ経済政策は欧米諸国と比較してそれほど遜色のあるものではなかった。むしろ大きな問題は、日本企業の低生産性と低付加価値率にあったのです。したがって、いまもっとも重要な論点は日本企業の「生産性向上と付加価値増大」すなわちイノベーションの実現にかかっています。本講演では、日本のイノベーションの方向性とその実現に向けて、国際展開と内需振興の両面から考えてみようと思っています。

2. 「アップルのものづくり経営に学ぶ

ー日本のエレクトロニクス企業へのインプリケーションー

14:05~15:05 (60分)

(株)ニッセイ基礎研究所 社会研究部 上席研究員 百嶋 徹 氏

今や世界を代表するハイテク企業に躍進した米アップルだが、90年代後半に未曾有の経営危機に陥った。経営危機を脱し、その後躍進できた背景として、創業者スティーブ・ジョブズ氏の経営哲学やビジョンを実現・実践すべく、あらゆる事業プロセスで徹底した「定石戦略」が組織的に追求されている点が重要だ。足下の業績のいかに関わらず、アップルの経営危機からの復権の軌跡は、日本のエレクトロニクス企業にとって、学ぶべきものが多いはずである。

休憩 (10分) 15:05~15:15

3. 「富士フィルムの研究開発の変革と

新規事業創出の戦略」

15:15~16:15 (60分)

富士フィルム(株) R&D 統括本部 技術戦略部長 井駒 秀人 氏

弊社は2000年を境に、主力の銀塩写真事業の消失という企業存続が危ぶまれる危機に直面した。それを乗り越え現在に到る道のりは決して平坦ではなく、現在も道半ばである。ビジネススタイルの激変を余儀なくされる中で、R&D部門が取り組んで来た研究開発の考え方、新規事業創出への取り組みなどをご紹介します。

(※講演内容等は、事情により変更となる場合がありますのでご了承下さい。)

◇開会 16:30

定 員：200名(事前登録制 につき 先着順に受付致します。)

参 加 料：無料

申込み方法：①添付の「参加申込書」に必要事項を記入の上、(一社)電子情報技術産業協会 関西支部 事務局宛 メール 又は F A Xにてお申し込み下さい。

②締切日8月23日(金)

③お申し込みに関わらず定員オーバーの場合に限り、事務局よりその旨ご返答致します。

*連絡先のE-mailアドレス・FAX Noは記入のお忘れなき様、お願い致します。

参加申込先並びに本件に関するお問い合わせ先

(一社)電子情報技術産業協会 関西支部 事務局； 嶋田・武井

〒530-0047 大阪市北区西天満6-8-7 電話:06-6364-4658 ・ FAX:06-6364-4560

Eメール: y-takei@kansai. jeita. or. jp (武井)

以 上

《 会 場 図 》



E-mail : y-takei@kansai. jeita. or. jp <JEITA 関西支部 武井 宛>

FAX : 06-6364-4560

9/13 技術セミナー参加申込書

「日本が取り組むべき成長戦略とは！」—閉塞感の殻をぶちやぶるために—

お陰様を持ちまして、満席となりましたので、受け付けは
終了させていただきました。

どうもありがとうございました。

2013/7/30

講演者プロフィール

米倉 誠一郎 氏 一橋大学 イノベーション研究センター 教授
ノートルダム大学 GIBS 日本研究センター所長



1981 年一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。
1990 年ハーバード大学にて歴史学の博士号を取得。
その後一橋大学商学部産業経営研究所教授を経て、現在 一橋大学
イノベーション研究センター教授。
企業経営の歴史的発展プロセスを戦略・組織・イノベーションの観点
から研究し、多くの経営者から熱い支持を受けている。
プレトリア大学 GIBS 日本研究センター所長、アカデミーヒルズ日本
元気塾塾長、『一橋ビジネスレビュー』編集委員長も務める。

【主な著書】

- ・創発的破壊 未来をつくるイノベーション
- ・脱カリスマ時代のリーダー論
- ・経営革命の構造他

百嶋 徹 氏 (株)ニッセイ基礎研究所 社会研究部 上席研究員



1985 年(株)野村総合研究所入社、証券アナリスト業務および財務・
事業戦略提言業務に従事。野村アセットマネジメント(株)出向を経て、
98 年(株)ニッセイ基礎研究所入社。専門は企業経営を中心に、産業競
争力、産業政策、産業立地、地域クラスター、イノベーション、企業
不動産(CRE)、環境経営・CSR に関する調査研究。日経金融新聞及び
Institutional Investor 誌アナリストランキングで素材産業部門第 1
位(94 年発表)。
共著書『CRE(企業不動産)戦略と企業経営』(東洋経済新報社)で第 1
回 日本ファシリティマネジメント大賞奨励賞受賞(07 年)。

井駒 秀人 氏 富士フイルム(株) R&D 統括本部 技術戦略部長



1982 年 千葉大 工学部 修士課程修了
富士写真フイルム(株) 足柄研究所 入社
2008 年 富士フイルム(株) R&D 統括本部 画像技術センター長
富士フイルムホールディングス(株) 画像基盤技術研究所
を設立、研究所長を兼務
2011 年 富士フイルム(株) R&D 統括本部 技術戦略部長
兼 富士フイルムホールディングス(株)
技術経営部 技術戦略グループ長 として現在に至る